

## 機運醸成事業の基本方針について

### 1 機運醸成事業の検討にあたって

#### (1) 検討の目的

芦屋港活性化基本計画において、小規模なイベントをきっかけに、多くの町民を巻き込み、芦屋港に関心を高めていく必要があるとなっている。また、機運醸成や継続可能な事業を推進していくために、キーパーソンとなる人材の発掘や育成に取り組んでいく必要があるとなっている

今回、福岡県によるボートパーク及び海釣り施設の整備が決定したことを踏まえ、機運醸成のための取り組みや情報発信を行うための考え方の検討を行うもの。

#### (2) 検討の方法

新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく社会経済環境が変化しているため、芦屋町の観光動向の分析と併せて、コロナ禍における観光動向の状況について整理した。

また、芦屋港活性化基本計画や上位計画である「第6次芦屋町総合振興計画」や「第2期芦屋町まち・ひと・しごと創生総合戦略」での考え方を踏まえたうえで、キーパーソンとなる人材の発掘とプレイヤー間での横のつながりをつくるために芦屋港にぎわいづくり意見交換会を設け、テストマーケティングアイデアに関する意見を踏まえ、機運醸成事業の基本方針のとりまとめを行った。

### 2 基本方針とりまとめの経緯

#### ○芦屋港にぎわいづくり意見交換会

- ・第1回意見交換会（令和3年3月12日）
- ・第2回意見交換会（令和3年3月25日）

#### ○エリアマネジメント専門分科会

- ・第1回会議（令和2年12月16日）
- ・正副会長会議（令和3年3月31日）
- ・正副会長会議（令和3年4月13日）
- ・第2回会議（令和3年4月27日）

#### ○ヒアリング

- ・芦屋町観光協会、観光あしや協議会、芦屋町商工会ヒアリング（令和3年3月3日）

### 3 機運醸成事業の基本方針

芦屋港にぎわいづくり意見交換会の意見を踏まえ、全天候型施設の基本方針を以下のとおりまとめた。

- 芦屋町の活性化に意識の高い町民によるワークショップ等により、人材の発掘、担い手の育成を図るとともに、芦屋町にある資源「ヒト・モノ・コト」を有機的につなぎ、ネットワーク化による町全体への波及効果創出を図る。
- テストマーケティングとして、芦屋港周辺の特性や素材を活かした小規模なイベントを上記メンバーが中心になり実施し、にぎわい創出や人材育成につなげる。
- SNS等を活用した情報発信を上記のキーパーソンにより自発的に行う。また、戦略的な情報発信を行うための調査検討を行う。

### 4 令和3年度以降の取り組み

#### (1) ネットワークづくり

令和2年度に開催された芦屋港にぎわいづくり意見交換会の参加者を中心に、まちづくりに関心のある参加者を増やしながら、「ヒト・モノ・コト」のつながりをつくる。

#### (2) テストマーケティング

芦屋港にぎわいづくり意見交換会でのアイデア案（釣り教室、サイクリングルートを活用したサイクルイベント、朝市など漁師と連携したイベント、キッチンカーの活用、屋外シアターイベント）をもとに、ニーズや市場性の把握を行う。

#### (3) 情報発信

SNS等を活用した情報発信を行い、効果的な情報発信を目指すための検証も同時に行う。